

専門修練医カリキュラム ―放射線コース―

概 要

レジデント研修カリキュラムで行う循環器疾患の CT/MRI 診断、心臓血管カテーテル検査・治療、核医学診断 (SPECT/PET) の 3 課題の中から、自分の専門領域を 1 つないし複数選択し、より高度の診療技術修得をめざす。また新技術開発や先端的・統合的応用に関する臨床研究を行う。

専門医資格

放射線科専門医修練機関 (画像診断・IVR、核医学;平成 31 年 3 月末まで)

日本 IVR 学会専門医修練施設 (平成 31 年 12 月末まで)

日本核医学会専門医教育病院 (平成 30 年 12 月末まで)

主な検査・治療手技

注) 症例数は 1 年での経験目標数

	目標数
・ 循環器 CT (心、冠動脈、大動脈、末梢動脈など)	500
・ 脳脊髄精密 CT (脳血管・頸動脈CTアンジオグラフィなど)	100
・ 循環器 MRI (心、冠動脈、大動脈、頸動脈、末梢動脈など)	240
・ 脳脊髄 MRI (脳血管障害など)	400
・ カテーテルインターベンション (末梢動脈・腎動脈など)	120
・ 大動脈ステントグラフト治療	120
・ 心臓 SPECT・脳 SPECT	500
・ ¹⁸ F-FDG PET	50
・ ¹³ N-ammonia PET	10
・ ¹⁵ O-gas 脳 PET	50

研修方法

1) 臨床

高度の診療技術と画像処理・解析技術の修得が中心となる。

1. 虚血性心疾患の CT/MRI 診断
2. 先天性心疾患の CT/MRI 診断
3. 心筋疾患の CT/MRI 診断
4. CT/MRI による心機能診断

5. 大動脈・肺動脈・末梢血管疾患の先端的 CT/MRI 診断
6. 脳血管障害の先端的 CT/MRI 診断
7. 新しい血管拡張・形成術、ステント留置術（大動脈ステントグラフト治療を含む）
8. 循環器疾患の SPECT/PET 診断
9. 循環器核医学検査における画像処理・定量解析技術

2) 臨床研究

以下の課題の研究をスタッフ医師と協力して行う。

1. 循環器疾患の治療と各画像診断法の関わりについての臨床研究
2. CT/MRI/RI/血管造影の三次元画像処理・表示・解析法の開発研究
3. 各モダリティの画像の複合表示・統合的解析に関する研究
4. CT/MRI/RI におけるイメージング法の改良研究
5. CT/MRI/RI による動脈壁不安定プラーク診断法の開発研究
6. Dual-energy CT 法の臨床応用に関する研究
7. カテーテルインターベンションの新技术開発
8. ハイブリッド手術に関する研究（外科との共同）
9. SPECT/PET による定量解析法の開発研究
10. PET を利用した分子イメージング技術の開発研究

3) 業務など

スタッフ医師と共同して放射線部の検査・治療業務を担当し、各種カンファレンスに参加する。病棟での患者受持ち、および当直業務はなし。

カンファレンス等の週間スケジュール

（定期）

- ・ 放射線部連絡・報告会（毎週月曜日・木曜日・午後）
- ・ PET カンファレンス（毎週月曜日・午後）
- ・ 血管カンファレンス（毎週火曜日・午後）
- ・ RI 抄読会（毎週火曜日・午後）
- ・ 放射線部勉強会（毎週火曜日・午後）
- ・ 心カテカンファレンス（毎週金曜日・午後）
- ・ RI 読影会（週日毎日・午後）
- ・ カテ前回診（週日毎日・午後）

（不定期）

- ・ リサーチミーティング（随時）
- ・ 放射線機器勉強会（随時）
- ・ 国内外専門家によるセンター内セミナー（随時）
- ・ スタッフ医師による講義（随時）